

# 障がい者チャレンジトレーニング（職場短期実習）事業 好事例

（支援機関）障がい者就業・生活支援センター

1. 本人プロフィール	
障がい種類・程度	知的障がい（療育手帳B2） 身体障がい（身体障がい者手帳2級）

2. 職場情報	
業種	サービス業（美容院）

3. チャレンジトレーニングの実施			
日数	4日間	勤務時間	5時間／日
実習内容	清掃（タオル洗濯・店内外の清掃）		
支援機関による 職場への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車の運転ができず公共バスで通勤することから、始業時間に間に合わない。このため、本人の業務開始時間の調整をお願いした。</li> <li>・身体障がいもあるため、業務に必要な道具は本人の取りやすい位置に収納するようにお願いした。</li> <li>・最終日に本人と店長を交えて実習の振り返りをする機会を設けた。</li> </ul>		
職場における 本人への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人は身長が低く、下肢障がいがあるため、実習中に常に使用するものに関しては棚の低層部に設置して安全面や作業効率向上への配慮を行った。</li> </ul>		

4. 就職後の様子	
仕事内容	清掃（タオルの洗濯・道具の洗浄・施術の準備・店内外の清掃）
職場における 本人への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの運行時間に合わせて、通常より遅い就業開始時間を設定している。</li> <li>・チャレンジトレーニング時の様子では、作業時間に余裕があったので、道具の洗浄と施術の準備の作業を増やした。</li> <li>・同じ現場の従業員として、職場におけるバレーボール大会やバーベキュー、などへの参加を呼びかけている。バーベキューに参加したことで、社員とのコミュニケーションが深まった。</li> </ul>
支援機関による 就職後の定着支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回の職場訪問を実施し、業務中のミスやコミュニケーションの困り事、友達関係の相談などに対して、アドバイスを行っている。</li> </ul>
チャレンジ トレーニング後の 職場の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジトレーニングを通じて、本人の仕事をこなすスピードや仕上がりなどの能力を見ることで雇用への不安は軽減された。また、人柄も見ることができた。</li> </ul>